

## 今 何故訳詞なのか。

オペラは声、歌曲は詩と言われます。

歌は旋律、和音、リズム、詩によって構成されていますが、私は詩が最も大切だと思います。  
ウィーン留学時代、レッスンでウィーンの作曲家  
ロベルト・シュトルツの曲を歌っている時、恩師  
に言われました。

「シュトルツの歌曲は詩が大事だから日本に帰ったら訳して歌いなさい  
ドイツ語が解らない人のために、きれいな日本語に訳してね」

大衆の歌なればこそ言える事だと思います。オペラ  
の原語上演が当たり前の世の中でオペレッタ  
を訳して歌う事を始めて30年。詩の大切さを、  
そしてウィーンで学んだ音楽を今、歌い上げます。

黒田 晋也

二期会オペレッタ研究会10周年企画 第2弾

黒田晋也訳詞による

# オペレッタの世界

2011年9月30日 金

昼 13:30開場 14:00開演

夜 18:30開場 19:00開演

会場

sonorium ソノリウム

[京王井の頭線永福町駅 徒歩5分]

料金 [ワンドリンク付]

一般 4,000円 / 学生 2,000円

出演

小林 晴美 黒田 晋也

近藤 均 榎本 潤 [ピアノ]

お問い合わせ

☆オペレッタ座☆事務局

〒102-0083 千代田区麹町1-12-12-2F

TEL.03-3237-6992